



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 エスケー化研株式会社

コード番号 4628 URL <http://www.sk-kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤井 實

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長代理

(氏名) 竹内 正博

TEL 072-621-7720

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	70,408	2.6	9,281	1.6	9,270	△20.4	6,202	△18.8
27年3月期第3四半期	68,637	△2.3	9,139	△7.4	11,647	3.6	7,634	7.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 5,502百万円 (△31.6%) 27年3月期第3四半期 8,046百万円 (△2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	454.84	—
27年3月期第3四半期	553.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	109,028	88,971	81.6	6,574.71
27年3月期	106,907	86,368	80.8	6,305.94

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 88,971百万円 27年3月期 86,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				期末	合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	65.00	65.00	65.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	65.00	65.00	65.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.3	13,300	14.8	14,500	2.3	9,930	6.9	728.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	15,673,885 株	27年3月期	15,673,885 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,141,454 株	27年3月期	1,977,522 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	13,636,749 株	27年3月期3Q	13,788,930 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(会計方針の変更)	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による継続的な金融緩和策等による下支え効果もあり、企業収益の改善など緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速懸念など、景気動向を左右する国際的な不安要素も見受けられ、先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、公共投資、耐震改修促進法による公共・民間建物の改修需要、首都圏を中心とした大規模再開発が予想されておりますが、一方、建築現場の慢性的な労務者不足による工事の遅れ、需給バランスの崩れ、建築資材や人件費の高騰等、厳しい市場環境が続いております。

このような状況下、当社グループは、引き続き、新築市場だけでなく膨大な住宅ストックを抱えるリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料等の各種機能性塗料、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、704億8百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。利益面におきましては、営業利益は、92億81百万円（同1.6%増）、経常利益は、92億70百万円（同20.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、62億2百万円（同18.8%減）となりました。セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、新築需要が減少いたしました。主にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行い、売上高は649億39百万円（同3.5%増）と前年同四半期連結累計期間に比べて21億90百万円の増収となりました。セグメント利益は104億75百万円（同1.1%増）と前年同四半期連結累計期間に比べて1億17百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏では再開発事業における受注が拡大しておりますが、その他の地域では受注が伸び悩み、売上高は37億48百万円（同6.4%減）と前年同四半期連結累計期間に比べて2億57百万円の減収となりました。セグメント利益は4億3百万円（同12.5%増）と前年同四半期連結累計期間に比べて44百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は17億21百万円（同8.6%減）と前年同四半期連結累計期間に比べて1億61百万円の減収となりました。セグメント利益は1億81百万円（前年同四半期連結累計期間は10百万円）と前年同四半期連結累計期間に比べて1億71百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べて21億20百万円増加し、1,090億28百万円（前連結会計年度末比2.0%増）となりました。

増加した主なものは、その他11億9百万円（同58.1%増）、受取手形及び売掛金9億3百万円（同4.3%増）、現金及び預金6億96百万円（同1.2%増）であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて4億82百万円減少し、200億56百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。

減少した主なものは、未払法人税等10億37百万円（同58.9%減）、賞与引当金4億6百万円（同27.3%減）、増加した主なものは、短期借入金10億円（同49.3%増）であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて26億3百万円増加し、889億71百万円（前連結会計年度末比3.0%増）となりました。

増加した主なものは、四半期純利益を含む利益剰余金53億12百万円（同6.3%増）、減少した主なものは、自己株式20億8百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、計画通り推移しており、平成27年5月11日に公表しました平成28年3月期の連結業績予想通期に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,036	58,733
受取手形及び売掛金	21,154	22,057
商品及び製品	2,243	2,114
仕掛品	1,066	945
未成工事支出金	44	298
原材料及び貯蔵品	4,532	4,599
繰延税金資産	820	545
その他	549	623
貸倒引当金	△27	△14
流動資産合計	88,419	89,903
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,954	4,892
機械装置及び運搬具(純額)	1,009	953
土地	8,355	8,358
建設仮勘定	328	78
その他(純額)	92	102
有形固定資産合計	14,741	14,385
無形固定資産	1,263	1,119
投資その他の資産		
投資有価証券	15	15
繰延税金資産	284	283
退職給付に係る資産	434	459
その他	1,908	3,017
貸倒引当金	△160	△155
投資その他の資産合計	2,482	3,619
固定資産合計	18,487	19,124
資産合計	106,907	109,028

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,965	6,117
短期借入金	2,030	3,030
未払金	5,263	5,231
未払法人税等	1,761	724
賞与引当金	1,486	1,080
役員賞与引当金	85	63
製品保証引当金	45	44
その他	1,683	1,442
流動負債合計	18,321	17,733
固定負債		
繰延税金負債	40	38
役員退職慰労引当金	1,049	1,072
退職給付に係る負債	73	74
その他	1,052	1,137
固定負債合計	2,217	2,322
負債合計	20,538	20,056
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	84,990	90,302
自己株式	△7,004	△9,012
株主資本合計	83,785	87,089
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	2
為替換算調整勘定	2,608	1,967
退職給付に係る調整累計額	△27	△87
その他の包括利益累計額合計	2,583	1,882
純資産合計	86,368	88,971
負債純資産合計	106,907	109,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	68,637	70,408
売上原価	47,777	48,511
売上総利益	20,859	21,897
販売費及び一般管理費	11,720	12,616
営業利益	9,139	9,281
営業外収益		
受取利息	116	253
受取配当金	0	0
仕入割引	63	58
為替差益	2,291	—
雑収入	63	47
営業外収益合計	2,536	359
営業外費用		
支払利息	8	13
売上割引	1	0
為替差損	—	348
雑損失	18	8
営業外費用合計	27	370
経常利益	11,647	9,270
税金等調整前四半期純利益	11,647	9,270
法人税、住民税及び事業税	3,390	2,762
法人税等調整額	623	305
法人税等合計	4,013	3,067
四半期純利益	7,634	6,202
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,634	6,202

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	7,634	6,202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	0
為替換算調整勘定	406	△640
退職給付に係る調整額	4	△60
その他の包括利益合計	411	△700
四半期包括利益	8,046	5,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,046	5,502
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年6月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式8,000株、平成27年8月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式50,000株、平成27年9月16日開催の取締役会決議に基づき、自己株式40,000株、平成27年11月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式58,000株、平成27年12月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,000株及び当第3四半期連結累計期間において単元未満株式2,932株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が2,008百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が9,012百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,748	4,005	66,754	1,882	68,637	—	68,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	—	1	2	3	△3	—
計	62,749	4,005	66,755	1,885	68,640	△3	68,637
セグメント利益	10,357	358	10,716	10	10,726	△1,587	9,139

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,588百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建築仕上 塗材	耐火 断熱材	計				
売上高							
外部顧客への売上高	64,939	3,748	68,687	1,721	70,408	—	70,408
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	—	0	1	1	△1	—
計	64,939	3,748	68,687	1,722	70,410	△1	70,408
セグメント利益	10,475	403	10,879	181	11,061	△1,779	9,281

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、各種化成品、洗浄剤等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,781百万円、セグメント間取引消去1百万円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。